

Material to Mirai

東洋紡敦賀事業所のご案内



Ideas & Chemistry

東洋紡株式会社 敦賀事業所

〒914-8550

福井県敦賀市東洋町10番24号

TEL: (0770) 22-7600 (代表)

<https://www.toyobo.co.jp/>



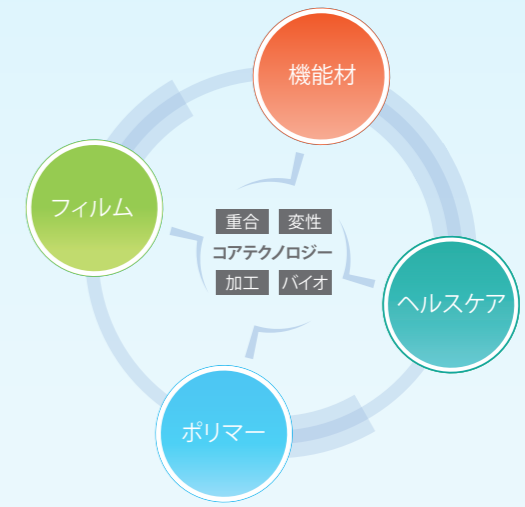
ようこそ、ミライをつくる敦賀事業所へ

みんなが思い描く、快適で安心な暮らしがここから生まれています。

1934年、東洋紡 敦賀事業所はレーヨンの生産をスタートし、時代の流れとともにフィルム・バイオ・高機能製品とその事業内容を変えてきました。現在では高機能製品の拠点として成長を遂げ、当社の基幹事業所として研究から生産まで完結する体制を整えています。今求められるのは、これまでにない価値で未来をつくる機能性。より快適で安心なサステナブル社会を実現するために、素材の持つ次の可能性を追求し続けます。

敦賀事業所の4つの事業領域とコアテクノロジー

コア技術を融合した新しい技術体系により、製品化を実現するとともに、新たなスペシャルティ事業の創出を加速しています。



- 自動車** 自動車部品用樹脂
- 自動車** エアバッグ用基布
- 消防服** 高耐熱性スーパー繊維
- 病院** 臨床検査薬用原料酵素
- 医療・研究機関** 臨床検査機器
- テレビ・パソコン・スマホ** 液晶ディスプレイ用フィルム
- 飲料** ペットボトルラベル
- コーヒー包装用フィルム** Blendy
- 船舶** 係留用ロープ
- 建材** ビル屋上の防水用不織布
- 新幹線** 座席用クッション材
- 釣り糸** 超高強度ポリエチレン繊維

液晶ディスプレイから ペットボトルラベルまで 幅広い製品に貢献

フィルム
Films

敦賀フィルム技術センター/
つるがフィルム工場

原料ポリマーの探索やフィルム製膜技術の開発をもとに、それぞれの技術や特長を融合させることで、多種多様な新商品の開発に取り組んでいます。ポリエステルフィルムは、クリーンルーム内で生産し、異物の少ない高品質なフィルムとして、包装、工業用途に幅広く採用されています。

包装用フィルム

二軸延伸ポリエステルフィルム
「東洋紡エステル®フィルム」

PETを二軸延伸したフィルムで、耐熱性、寸法安定性、透明性、機械適性に優れています。接着性、カラー印刷性を改良した「エスペット®フィルム」とともに、主に包装用基材として用いられています。



低温高収縮性をもつ
ポリエステルフィルム
「スペースクリーン®」

ペットボトルと同系素材のため、ボトル再生品の汚染を大幅減少し、リサイクルにも最適。低温高収縮性のほか、透明性・光沢・薄肉化にも優れているので、幅広い包装用途に適しています。



プラスチックフィルム
「バイオプラナー®」

素材の一部を植物由来にすることで、石化資源の使用削減に貢献。物性・品質は石油由来原料を使用した製品と同等のため、同じ条件で加工できます。



工業用フィルム

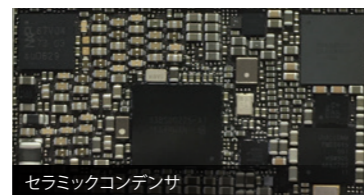
超複屈折ポリエステルフィルム
「コスモシャインSRF®」

液晶ディスプレイに使用されており、PETの特長である耐水性、耐久性はそのままに、延伸フィルムでありながら、複屈折による虹ムラを解消。さまざまな素材との優れた密着性を発揮します。



セラミックコンデンサ用離型フィルム
「コスモピール®」

セラミックコンデンサの製造工程で使用する離型フィルムを、原反から離型加工まで一貫製造。ハイエンド品に必要な平滑性の独自技術と、クリーン環境を維持する加工設備を保有しています。



ポリエステル系合成紙
「クリスパー®」

内部に空洞がある白色・不透明の二軸延伸ポリエステルフィルム。ペットボトル再生原料を含むリサイクル原料を活用し、同時に軽量化も実現した環境にやさしい合成紙です。



ポリエステル(PET)樹脂

独自の重合技術により、安定品質で効率生産され、フィルム、エンジニアリングプラスチックなどに加工。射出成形用樹脂の「バイロペット®」は、耐熱性、剛性、耐薬品性、電気特性に優れ、自動車部品、電気・電子部品、機械部品に採用されています。



各種ポリエステルフィルム



「バイロペット®」

ナイロン(Ny)樹脂

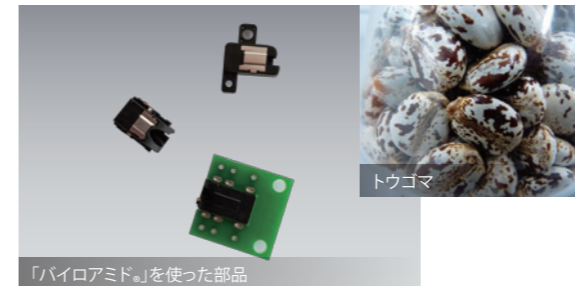
当社独自の技術で生産されるMXD6、高融点ナイロン、透明ナイロンなどがあります。「グラマイド®」のようにナイロン樹脂にミネラルフィラーやガラス繊維を複合的にコンパウンドし、必要な特性を付与させたエンジニアリングプラスチックなどに加工されます。



「グラマイド®」

バイオマス高融点ポリアミド樹脂 「バイロアミド®」

非可食のトウゴマを原料とするバイオマス系ポリアミド樹脂で、315℃という従来の高融点ポリアミドと比較しても最高レベルの融点に加え、低い吸水性ゆえの優れた寸法安定性が特長。電気・電子部品や自動車分野の高耐熱部品に使用されます。



トウゴマ

「バイロアミド®」を使った部品

こんなところで活躍! 「ドリンクホットウォーマー」

ナイロン樹脂のMXD6はガスバリア性に優れ、ホットウォーマー用飲料ボトルのバリア層として使用されています。



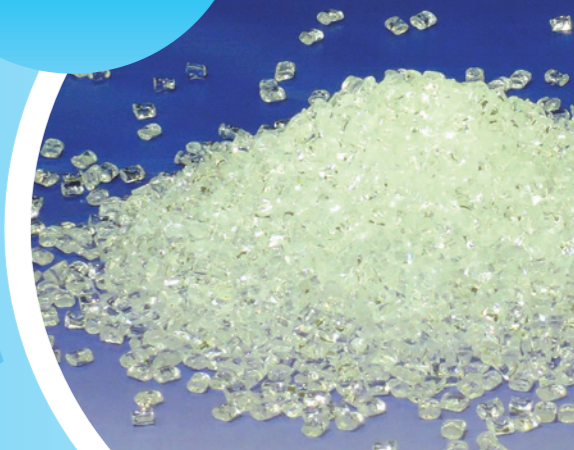
ホット用PETボトル

オーダー対応と 生産技術・開発の 充実を目指す

製造技術や新規ポリマー・新規プロセスの開発のほか、既存ポリマーの生産性・品質品位の改善に取り組んでいます。また、重合・変性技術を駆使し、自動車や電気・電子部品などさまざまな用途に展開可能なポリエステル、ナイロン樹脂を生産しています。

ポリマー
Polymers

ポリマー開発センター/
敦賀ポリマー工場



エアバッグ用基布

紡糸および後加工技術をもとに、ノンコートタイプから各種コート布までラインアップ。軽量、コンパクト化を実現し、高い品質と優れた特性で信頼を得ています。



3次元スプリング構造体「プレスエアー®」

ポリマーや製糸技術の応用により、3次元スプリング構造にした高性能クッション材です。通気性・耐久性に優れ、リサイクルが可能のため、寝具や車両座席用途を中心に幅広く使用されています。



長繊維不織布「スパンボンド」

引張強度・引裂き強度に優れた強じんな長繊維不織布。建築・自動車・土木関連資材、その他工業資材に幅広く展開され、他素材を組み合わせた放射性物質の除去資材も開発しています。



超高強度ポリエチレン繊維「イザナス®」

超高分子量ポリエチレンを独自のゲル紡糸法で紡糸延伸して生まれたスーパー繊維。高強度・高弾性率でありながら、非常に軽く、釣り糸や防護衣料、船舶用ロープなどに活用されています。



高強力ポリエチレン繊維「ツヌーガ®」

熔融紡糸法で高分子量ポリエチレンから作られた高強力繊維。水や光、薬品への耐久性に優れ、着色も容易なことから、防護衣料用途や新しい市場開拓を進めています。



PBO繊維「ザイロン®」

世界一*の強度・弾性率を有し、耐熱・難燃性においても最高レベルを誇る“超”スーパー繊維です。その用途は限りなく広がっています。

*現存する有機繊維の比較データ (2015年5月、当社調べ)



微生物発酵や遺伝子測定など 最先端の技術研究で 医療を高度化

臨床検査薬用酵素、化粧品素材などの高機能物質や、臨床検査薬、医療機器、ライフサイエンス研究用試薬などの分野に貢献。バイオ事業の基幹工場として、微生物発酵と遺伝子測定を基幹技術に、事業領域を拡大しています。



ヘルスケア
Healthcare
敦賀バイオ研究所/
敦賀バイオ工場

臨床検査薬用原料酵素

生体由来の高機能物質である酵素は、生化学検査薬、遺伝子解析など、医療現場で利用されています。ますます高度化する医療にも対応すべく、酵素以外の高機能物質の開発にも取り組んでいます。



臨床検査機器

検体前処理から遺伝子増幅・検出まで測定する全自動遺伝子解析装置「GENECUBE®」や尿中有形成成分分析装置「USCANNER® (E)」などの提供で、より良い医療に貢献しています。



ライフサイエンス研究用試薬

遺伝子増幅 (PCR) 試薬や高発現ベクターなどのライフサイエンス研究用試薬の提供を通じて、遺伝子研究やゲノム創薬、抗体医薬開発などに貢献。医療や生命科学分野で、最先端の研究に携わる医師や研究者をサポートします。



こんなところで活躍! 「血糖値測定酵素」

自己血糖センサー用酵素「FAD-GDH」は、従来より短時間かつ正確に血糖値測定を実現でき、国内外トップシェアを獲得しています。



機能材 Functional Materials

敦賀機能材工場

独自技術で 「強い」「軽い」「燃えにくい」 機能特性を追求

産業マテリアル分野に展開する機能素材を開発。水に浮くほど軽いのに鉄より強い繊維や、ノンコーティングのエアバッグ素材など、お客さまに満足いただける製品の開発、生産を進めています。

関係会社

ゼノマックスジャパン株式会社

世界最高レベルの寸法安定性を持つ 高耐熱性フィルムを製造

長瀬産業(株)との合併によりゼノマックスジャパン(株)を設立しました。世界最高レベルの高耐熱性、高寸法安定性*を持つポリイミドフィルム「ゼノマックス」を事業化し、生産工場を敦賀事業所内に建設。ガラスやシリコンウエハー、セラミックなどに代わる基板材料として電子ペーパーディスプレイや有機ELディスプレイ、各種センサー向け用途に展開しています。

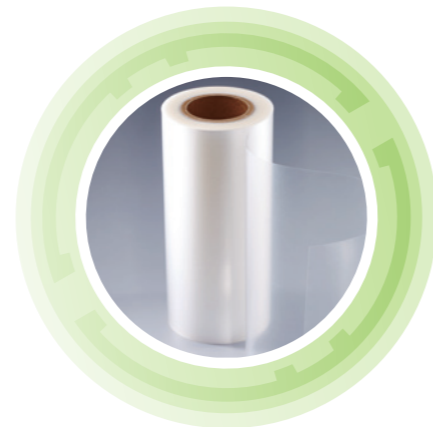
*寸法安定性:温度変化に対して物質(材料)の寸法(サイズ)変化が起こりにくい性質。



キャストフィルムジャパン株式会社

食品包装用途で広く使用される 無延伸フィルムの製造

DIC(株)との合併会社であるキャストフィルムジャパン(株)は、ポリプロピレンやポリエチレンを原料として、菓子やパン、ふりかけ、乾物などの食品包装用のフィルムや工業用途のフィルムを製造しています。透明性や光沢、耐熱性、防湿性に優れる「パイレックス・フィルム」(ポリプロピレン)、低温ヒートシール性、耐寒性、耐破袋性に優れる「リックス・フィルム」(ポリエチレン)は、多くのお客さまに採用されています。



東洋紡のコア技術を2つの事業所に結集し、
各領域で未来に向けた研究・開発・生産を推進しています

Functional Materials

- 敦賀機能材工場



Films

- 敦賀フィルム技術センター
- つるがフィルム工場



Polymers

- ポリマー開発センター
- 敦賀ポリマー工場



Healthcare

- 敦賀バイオ研究所
- 敦賀バイオ工場



構内マップ
敦賀事業所 第二



敦賀事業所 第一



敦賀事業所 第二

敦賀事業所 第一



これからも社会と地域の発展のために、敦賀の街とともに歩み続けていきます

1933年～
レーヨン繊維の始動

1882

東洋紡の前身である大阪紡が
渋沢栄一により創立

1914

大阪紡(株)と三重紡(株)の合併で
東洋紡績(株)を設立

1933

昭和レーヨン(株)が敦賀に工場を建設
(現:敦賀事業所第一)

1934

東洋紡が昭和レーヨンを合併、
東洋紡績敦賀工場として
レーヨン(人絹糸)を生産開始



渋沢栄一



1933年 敦賀工場建設

1960年～
合成繊維の興隆

1963

ポリウレタン弾性繊維「エスパ。」生産開始

1964

呉羽紡績(株)敦賀ナイロン工場設立
(現・敦賀事業所第二)、
ナイロン糸の生産を開始

1966

呉羽紡との合併により、
東洋紡敦賀ナイロン工場となる

1967

ポリエステル長繊維生産開始

1969

ブロミックス繊維「シノン」生産開始



1964年 敦賀ナイロン工場

1970年～
非繊維事業の拡大

1973

レーヨントイヤコード生産休止

1976

東洋紡スパンボンド(株)敦賀工場操業開始

1978

敦賀酵素工場の設立(現:敦賀バイオ工場)

1981

敦賀フィルム(株)敦賀工場設立

1984

(株)日本マグファン敦賀工場操業開始
(現:つるがフィルム工場)



1973年 社内報



1982年 日本マグファン
敦賀工場建設

1990年～
高機能製品の追求

1992

敦賀バイオ研究所の設立

1993

エアバッグ用ナイロン原糸の
生産開始

1996

3次元スプリング構造体
「プレスエアー。」生産開始

1998

PBO繊維「ザイロン。」生産開始

2002

敦賀地区の工場を敦賀事業所として再編

2003

超高強度ポリエチレン繊維
「ダイニーマ」(現:「イザナス。」)生産開始



現在の敦賀バイオ研究所

2000年～
可能性への挑戦

2012

東洋紡創立130周年

2014

つるがフィルム工場にて
超大型機(JT5)を稼働

2015

キャストフィルムジャパン(株)設立
(敦賀フィルム(株)と
DICフィルテック(株)を統合)

2018

ゼノマックスジャパン(株)設立

2019

敦賀事業所 創業85周年
セラミックコンデンサ用離型フィルム
製造工場の新設



現在のつるがフィルム工場

敦賀の街の動き

1937

敦賀町と松原村が
合併して市制施行

1945

敦賀空襲(死者100名以上)
敦賀工場に模擬原爆投下

1955

近隣5ヶ村を編入合併し
現在の敦賀市が誕生

1970

敦賀原発が営業運転開始

1975

国鉄湖西線が全面開通

1980

北陸自動車道
敦賀・米原間開通

1999

敦賀港開港 100周年

2014

舞鶴若狭自動車道が
全面開通

2018

第73回国体を
福井県で開催

生き生きと働ける職場環境を目指し、安全環境の整備や福利厚生、教育体制の充実に努めています

環境・安全・防災

敦賀事業所では、「安全第一」の事業所方針のもと、事業所で働く仲間が、安全で働きやすい職場環境となるように、また、事業所周辺に対する環境災害リスクを低減させるべく、日々、労働安全および環境防災活動に取り組んでいます。

労働安全活動



「ご安全に!」の励行、作業に適した保護具の使用、作業前の指差呼称等で、作業者の安全意識を高める「みまろう運動」を推進しています。また、現場の作業リスクを数値化して評価する「リスクアセスメント活動」を実施しており、設備対策に重点を置いた本質安全化に向けた取り組みを推進しています。

環境防災活動



生産現場から排出される環境負荷物質を減らし、環境に優しい製品作りを通して環境保全に取り組んでいます。また、生産現場から火災、爆発、流出などの事故を起こさないよう、設備や作業方法を点検する保安防災を推進。自衛防災団を組織し、災害を鎮圧できるような防災訓練等を実施しています。

福利厚生・施設



明るく開放的な食堂はもちろん、社宅や寮も完備。体育館やテニスコート、グラウンドなど、身体を動かせる施設も充実しています。また、サッカー、バスケット、野球などのクラブ活動のほか、お花見、夏祭りなど、社内イベントも盛んに開催されています。

人材教育体制

入社後は持続的に教育・フォローアップ面談を実施することで、従業員の成長を継続的にサポートしています。



従業員にとって働きやすい制度が整っており、「ふくい女性活躍推進企業プラス」にも登録されています。

